# 群馬大学コアファシリティ総合センター依頼分析取扱規程

令和 7.10. 1 制　定
改正　令和 8. 1. 1　令和 8. 4. 1

（趣旨）
第１条　国立大学法人群馬大学授業料その他の費用に関する規程第19条の規定に基づき、群馬大学コアファシリティ総合センター（以下「センター」という。）エンジニアリング分野およびライフサイエンス分野（以下「分野」という。）が外部機関からの依頼を受けて行う試料分析に関し必要な事項を定める。

（分析の項目及び料金等）
第２条　センターが外部機関から依頼を受けて行う試料分析で用いる機器、分析の項目及び分析料は、別表のとおりとする。

（分析の依頼）
第３条　センターに試料分析を依頼しようとする者（以下「分析依頼者」という。）は、依頼分析申請書（別紙様式１）をセンターの長（以下「センター長」という。）に提出しなければならない。

（受入条件）
第４条　分析の受け入れ条件は、次の各号に掲げるものとする。

(1) 分析料は、群馬大学が発行する請求書に基づき、指定する期限までに支払うものとする。ただし、分野の長（以下「分野長」という。）が特別の事由があると認めた場合には、支払期限を延期することができる。

(2) 分野長は、教育研究上必要と認めた場合は、分析料の全部又は一部を免除することができる。

(3) 分析依頼者からの申出により分析を中止した場合においても既納の分析料は返還しないものとする。

(4) センターは、次に掲げる分析依頼者の損害に対して一切その責任を負わない。

ア　やむを得ない事由によって分析を中止したため損害が生じたとき。

イ　分析を行うために提出された分析試料に損害が生じたとき。

ウ　分析結果を利用することで損害が生じたとき。

(5) 分野長が必要と認めたときは、分析試料の再提出を分析依頼者に求めることができる。

(6) 分析試料の搬入及び搬出は原則分析依頼者が行うものとする。

(7) 分野長が受け入れできないと判断した分析試料については、受け入れしないことができる。

(8) 分析依頼者は、所定の講習を受講し、分野長の許可が得られた場合には、別表に掲げられる機器を自ら利用することができる。

（分析の中止）
第５条　分野長は、次の各号に掲げるいずれかに該当する場合、分析を中止することがで

きる。

(1) 依頼分析申請書に虚偽の記載等があることが判明したとき。

(2) 依頼分析を継続した場合、機器を著しく損なう可能性があると判断したとき。

(3) 分析依頼者から中止の申出があったとき。

(4) 機器等の故障により、分析が困難となったとき。

（分析結果の通知）

第６条　センター長は、当該分析が終了したときは分析結果通知書（別紙様式２）により分析依頼者に通知するものとする。

２　分析結果通知書は、原則和文で作成するものとする。

（機密保持）

第７条　分野長及び分析依頼者は、分析により得られたデータ又は知り得た情報についてあらかじめ協議の上非公開とすることができる。

２　分析依頼者は、分析により得られたデータを公表する場合には、センターの名称を使用することができない。ただし、センター長が使用を許可した場合は、この限りでない。

（雑則）

第８条　この規程に定めるもののほか、分析の実施に関し必要な事項は、センター長が別に定める。

（規程の改廃）

第９条　この規程の改廃は、コアファシリティ総合センター運営委員会の議を経て、センター長が行う。

附　則

この規程は、令和７年10月１日から施行する。

附　則

この改正は、令和８年１月１日から施行する。

附　則

この改正は、令和８年４月１日から施行する。

別表（エンジニアリング分野）

| 作業単位 | | 測定単位 | 分析料 | 付帯事項 |
|---|---|---|---|---|
| 機器名 | 分析項目 | 単位 | 金額(円) | |
| パルスフーリエ変換核磁気共鳴装置 | H-NMR | １試料 | 31,000 | 測定が５時間以上に及ぶ場合は、１時間 当り5,000円を加算する。該当の分析範疇は、1H核１次元、1H-DOSY測定およびNOESY等同核相関２次元測定とする。 |
| | C-NMR | １試料 | 42,000 | 測定が５時間以上に及ぶ場合は、１時間 当り5,000円を加算する。該当の分析範疇は、溶液NMR13C核１次元測定のみとする。 |
| | その他の測定 | １試料 | 36,000 | 測定が５時間以上に及ぶ場合は、１時間 当り5,000円を加算する。該当の分析範疇は、固体NMR分析、1H,13C以外の核でのNMR分析、異核相関多次元測定、外部者操作測定とする。 |
| 熱分析装置 | TG-DTA | １試料 | 14,000 | |
| | DSC | １試料 | 14,000 | |
| | | | 15,000 | 密封試料容器：70μ、15μ Al pan 使用 |
| | | | 16,000 | 密封試料容器：70μ、15μ Ag pan 使用 |
| | | | 16,000 | 密封試料容器：70μ、15μ sus pan 使用 |
| | DMS | １試料 | 19,000 | |
| | TMA | １試料 | 14,000 | |
| フーリエ変換顕微赤外分光光度計 | 通常 | １試料 | 13,000 | |
| | 顕微 | １試料 | 18,000 | |
| 走査型電子顕微鏡 | 形態観察 | １試料・１個所 | 24,000 | １個所３枚撮影 |
| | X線分析 | １試料 | 35,000 | 形態観察を含む |
| 自動X線回折装置Ⅰ | | １試料 | 14,000 | |
| 有機元素分析装置 | | １試料 | 18,000 | |
| 電子線マイクロアナライザーシステム | | １試料 | 35,000 | |
| 紫外可視分光光度計 | | １試料 | 7,000 | |
| 小型万能レオメータ | | １試料 | 10,000 | |
| 振動試料型磁力計 | | １試料 | 16,000 | |
| 自動Ｘ線回折装置Ⅱ | | １試料 | 16,000 | |
| 電子線描画装置 | | １試料 | 18,000 | |
| 反応性イオンエッチング装置 | | １試料 | 13,000 | |
| 高周波スパッタリング装置 | | １試料 | 24,000 | |
| 分子量測定装置 | | １試料 | 47,000 | 検量線作製が必要な場合は、10,000円を加算 |
| 電子スピン共鳴装置 | | １試料 | 19,000 | |
| 質量分析装置 | | １試料 | 19,000 | |
| 分光蛍光光度計 | | １試料 | 11,000 | |
| 走査型プローブ電子顕微鏡 | | １試料 | 33,000 | |
| Ｘ線光電子分光分析装置 | | １試料 | 44,000 | 基本料及び定性（Wide Scan)のみとする。加算料として備考欄に定める追加作業ごとに加算をする。 |
| 顕微レーザーラマン | | １試料 | 18,000 | |
| 粒子径・粒度分布・分子量測定システム | | １試料 | 6,000 | |
| 小型超遠心機 | | １～８試料 | 7,000 | 試料は８本まで（ロータにセットできる試料数）<br>1～3,000,000回転数を一単位として課金 |
| 円二色性分散計ＣＤ | | １試料 | 13,000 | |

| 作業単位 | | 測定単位 | 分析料 | 付帯事項 |
|---|---|---|---|---|
| 機器名 | 分析項目 | 単位 | 金額(円) | |
| 絶対ＰＬ量子収率測定装置ＰＬ | | １試料 | 7,000 | |
| 誘導結合プラズマ発光分析装置(ICP-AES) | | １試料 | 8,000 | |
| 蛍光Ｘ線分析装置(XRF) | | １試料 | 8,000 | |
| 時間領域核磁気共鳴装置(TD-NMR) | | １試料 | 7,000 | |
| 食品・飲料対応ｐＨメータ | | １試料 | 5,000 | |
| 高速液体クロマトグラフシステム (HPLC/PDA/MS/ELS) | | １試料 | 11,000 | カラムは機器分析センター常設を使用。カラム持ち込みは要相談。 |
| ガスクロマトグラフ飛行時間型質量分析計（GC/TOFMS) | | １試料 | 15,000 | |
| 高温昇温脱離分析装置 | | １試料 | 6,000 | |
| 超臨界クロマトグラフ質量分析装置（SFC-ESI-MS/MS) | MS分析 | １試料 | 30,000 | 標準測定条件に基づく分析に適用。 |
| 超臨界クロマトグラフ質量分析装置（SFC-ESI-MS/MS) | MS/MS分析 | １試料 | 40,000 | 標準測定条件に基づく分析に適用。 |
| 単結晶X線結晶構造解析装置 | | １試料 | 50,000 | |

備考

| 追加作業 | 加算料（円） |
|---|---|
| （Ｘ線光電子分光分析装置関係） | |
| 組成分析(１元素ごとにつき) | 4,200 |
| 深さ方向分析（エッチング１回ごとにつき） | 5,000 |
| （電子顕微鏡、電子線マイクロアナライザー関係） | |
| 試料包埋（最大６試料まで） | 6,000 |
| 研磨（最大６試料まで） | 13,000 |
| （前処理・試料調製作業関係） | |
| 前処理・試料調製作業等（１時間ごと） | 5,000 |
| 窒素（ガス、液体）（１タンクごと） | 5,000 |
| ※各分析項目実施にあたり当該作業が発生する場合は加算する。 | |

※金額には消費税額及び地方消費税額を含む。

別表（ライフサイエンス分野）

| 分析項目 | 依頼項目 | 単位 | 分析料(円)※1 | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 非営利※2 | 営利 |
| メタボローム（ターゲット） | サンプル調製 | 1 サンプル | 1,300 | 2,000 |
| | メソッド開発 | 1 化合物 | 32,500 | 50,000 |
| | 測定 | 1 サンプル | 1,300 | 2,000 |
| | 測定(基本) | 1 バッチ | 65,000 | 100,000 |
| | 一次解析 | 1 サンプル | 650 | 1,000 |
| | 二次解析 | 1 時間 | 13,000 | 20,000 |
| プロテオーム | ゲル内消化 | 10 サンプル | 39,000 | 60,000 |
| | 溶液内消化 | 10 サンプル | 39,000 | 60,000 |
| | 測定 | 1 サンプル | 26,000 | 40,000 |
| 次世代シーケンス | サンプル調製 | 1 日 | 7,800 | 12,000 |
| | 測定 | 1 ラン | 71,500 | 110,000 |
| | 一次解析 | 1 ラン | 32,500 | 50,000 |
| | 二次解析 | 1 時間 | 13,000 | 20,000 |
| qPCR (32サンプルまで) | ８連チューブ | 1 本 | 400 | 600 |
| | チップ等 | 1 ウェル | 100 | 100 |
| | マスターミックス | 1 ウェル | 100 | 200 |
| | 基本料 | 1 回 | 4,600 | 7,000 |
| qPCR (33サンプル以上) | 96ウェルプレート | 1 枚 | 1,800 | 2,800 |
| | チップ等 | 1 ウェル | 100 | 100 |
| | マスターミックス | 1 ウェル | 100 | 200 |
| | 基本料 | 1 回 | 4,600 | 7,000 |
| 光学顕微鏡試料作製 | パラフィンブロック作製 | 1 個 | 1,300 | 2,000 |
| | 薄切(未染色) | 1 枚 | 130 | 200 |
| | 薄切(HE染色) | 1 枚 | 390 | 600 |
| | 薄切切片のパラフィンコーティング | 1 枚 | 65 | 100 |
| | 染色切片の電子化 | 1 枚 | 65 | 100 |
| | 薄切切片の染色（HE染色以外） | 1 時間 | 1,560 | 2,400 |

別表（ライフサイエンス分野）

| 分析項目 | 依頼項目 | 単位 | 分析料(円)※1 | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 非営利※2 | 営利 |
| 透過電子顕微鏡試料作製 | エポン包埋ブロック作製 | 1　個 | 7,800 | 12,000 |
| | 準超薄切（トルイジンブルー染色） | 1　枚 | 1,300 | 2,000 |
| | 超薄切 | 1　枚 | 3,900 | 6,000 |
| | 電子染色（ウラン・鉛） | 1　枚 | 1,300 | 2,000 |
| | カーボン蒸着 | 1　枚 | 1,300 | 2,000 |
| 走査電子顕微鏡試料作製 | 凍結乾燥サンプル作製 | 1　個 | 7,800 | 12,000 |
| | オスミウムコーティング | 1　個 | 1,300 | 2,000 |

※１　金額には消費税額及び地方消費税額を含む。

※２　非営利は、国立大学法人、公立大学法人、独立行政法人又はこれらに類する機関に適用する。

別紙様式1

受付番号　　　　　　　号

# 依頼分析申請書

（元号）　　　年　　　月　　　日

群馬大学コアファシリティ総合センター長　殿

依　頼　責　任　者
法　人　名　：
部　署　等　：
氏　　名　：
住　　所　：〒
依頼担当者（連絡担当者）
フ リ ガ ナ　：
氏　　名　：
電　話　番　号　：
電子メールアドレス：

群馬大学コアファシリティ総合センター依頼分析取扱規程に基づき、下記のとおり分析を依頼いたします。

記

| | | |
|---|---|---|
| 分析機器名・分析項目名 | ※群馬大学コアファシリティ総合センター依頼分析取扱規程別表に掲げられている機器名または分析項目名をご記入ください。 | |
| 供試物品名 | 試 料 名 | 数 量 |
| | ※試料が複数ある場合、通し番号を付けて、試料名を列挙してください。<br>※試料数が多い場合、別紙添付でも結構です。 | |
| 分析内容・留意点など | | |

【ご協力のお願い】回答していただいた内容は、弊センターの運営及びその資料、セミナー等開催のご案内のみに利用させていただきます。

| | | | |
|---|---|---|---|
| ① 過去に弊センターに分析を依頼した経験はありますか。 | □ あり | □ なし（今回が初めて） | □ わからない |
| ② ①で「なし（今回が初めて）」「わからない」とお答えいただいた方にお聞きします。弊センターの依頼分析サービスを何でお知りになりましたか。 | □ 弊センターHP<br>□ パンフレット・チラシ | □ その他のWEBサイト<br>□ その他のWEBサイト | □ 紹介 |
| ③ 今後、弊センターが開催するセミナーやイベント、機器分析などに関するご案内をお送りさせていただいてもよろしいでしょうか。ご都合が悪い方は右チェックボックスにチェックをしてください。 | | | □ |

注意事項：　1．装置の分析感度に応じられる充分な量の試料をご用意ください。
2．測定終了後の試料は、分析依頼者が責任を持って処分してください。
3．既納の分析料金は、返還いたしません。

別紙様式2

# 依頼分析結果通知書

（元号）　年　月　日

法人名・所属など
依頼担当者（連絡担当者）　殿

群馬大学コアファシリティ総合センター長

下記のとおり依頼分析の結果を通知いたします。

| | |
|---|---|
| 依頼日 | （元号）　年　月　日 |
| 試料名 | |
| 結　果 | |

注意事項：群馬大学コアファシリティ総合センターの名称を使用し、本依頼分析結果通知書の内容（分析により得られたデータを含む。）を広告物その他情報媒体により公表する場合には、あらかじめコアファシリティ総合センター長の許可を得てください。